

わたしたちの「街」の未来を考えよう！ 地域の街づくりに関する区民アンケート調査（Web調査） 集計結果

1. 調査概要

調査期間：令和5年11月15日（水）～令和5年12月15日（金）

調査対象：区内在住者・区内在勤者・区内在学者

調査方法：東京共同電子システムサービス上のアンケートフォームから回答

周知方法：区（おしらせ、ホームページ、メールマガジン、SNS（X（旧Twitter）、Facebook）、広報板）、チラシ掲示（各総合支所、二子玉川分庁舎、まちづくりセンター、オープンハウス・意見交換会場など）

調査票：世田谷地域29問、北沢地域32問、玉川地域25問、砧地域24問、烏山地域28問
各地域、日本語版と英語版の2種類を作成し、回答を受付

目的：「地域整備方針」の見直しにあたり、各地域のまちの姿の満足度や今後の街づくりについて調査対象者のお考えやご意見を伺い、今後の10年間の各地域の街づくりの方針や取組み等を検討するうえで参考にすることを目的にします。

2. 集計結果

| | 世田谷 地域 | 北沢 地域 | 玉川 地域 | 砧 地域 | 烏山 地域 | 5地域 計 |
|-----|-----------|----------|----------|---------|----------|----------|
| 回収数 | 15 | 14 | 20 | 13 | 10 | 72 |

3. 回答処理について

- ・ 集計結果の割合は、小数点第2位を四捨五入して第1位までの表記としているため、合計が100%に満たない場合や、100%を超える場合があります。
- ・ 複数回答の質問の集計結果の割合は、回答者数に占める割合を示しているため、合計が100%を超える場合があります。

4. 集計結果

(5) 烏山地域

1 あなた自身のことについて (回答者の属性)

問 1

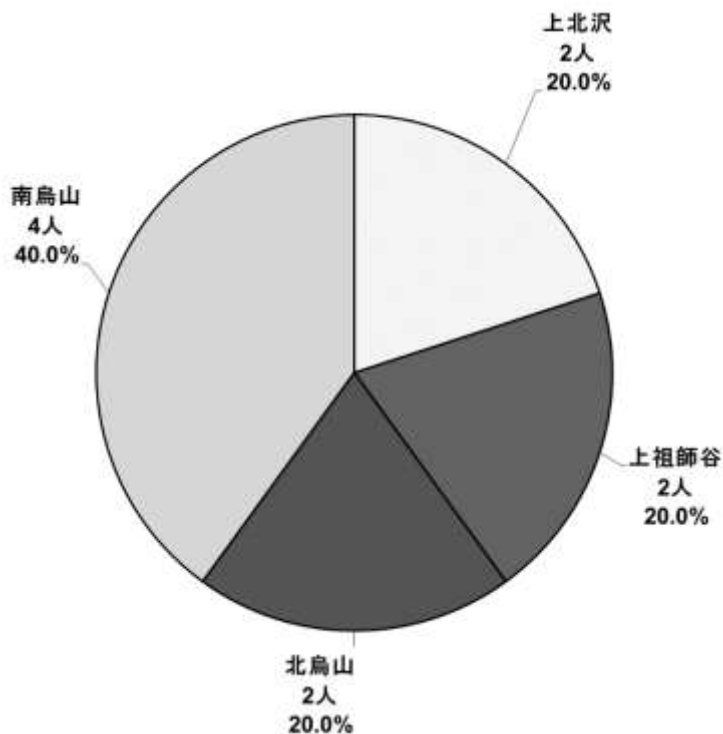
お住まいを丁目まで記載してください。

<回答>

・「南烏山」が4人(40.0%)のほか、「上北沢」「上祖師谷」「北烏山」にお住まいの方から、回答をいただきました。

●町別の集計

| 町 | 回答数 | 割合 |
|------|-----|-------|
| 上北沢 | 2人 | 20.0% |
| 八幡山 | — | — |
| 上祖師谷 | 2人 | 20.0% |
| 粕谷 | — | — |
| 給田 | — | — |
| 北烏山 | 2人 | 20.0% |
| 南烏山 | 4人 | 40.0% |



●町丁目別の集計

| 町 | 丁目 | 回答数 | 割合 |
|------|-----|-----|-------|
| 上北沢 | 1丁目 | 1人 | 10.0% |
| | 2丁目 | — | — |
| | 3丁目 | — | — |
| | 4丁目 | 1人 | 10.0% |
| | 5丁目 | — | — |
| 八幡山 | 1丁目 | — | — |
| | 2丁目 | — | — |
| | 3丁目 | — | — |
| 上祖師谷 | 1丁目 | — | — |
| | 2丁目 | 1人 | 10.0% |
| | 3丁目 | 1人 | 10.0% |
| | 4丁目 | — | — |
| | 5丁目 | — | — |
| | 6丁目 | — | — |
| | 7丁目 | — | — |
| 粕谷 | 1丁目 | — | — |
| | 2丁目 | — | — |
| | 3丁目 | — | — |
| | 4丁目 | — | — |

| 町 | 丁目 | 回答数 | 割合 |
|-----|-----|-----|-------|
| 給田 | 1丁目 | — | — |
| | 2丁目 | — | — |
| | 3丁目 | — | — |
| | 4丁目 | — | — |
| | 5丁目 | — | — |
| 北烏山 | 1丁目 | — | — |
| | 2丁目 | — | — |
| | 3丁目 | 1人 | 10.0% |
| | 4丁目 | — | — |
| | 5丁目 | — | — |
| | 6丁目 | 1人 | 10.0% |
| | 7丁目 | — | — |
| | 8丁目 | — | — |
| | 9丁目 | — | — |
| 南烏山 | 1丁目 | — | — |
| | 2丁目 | — | — |
| | 3丁目 | — | — |
| | 4丁目 | — | — |
| | 5丁目 | 2人 | 20.0% |
| | 6丁目 | 2人 | 20.0% |

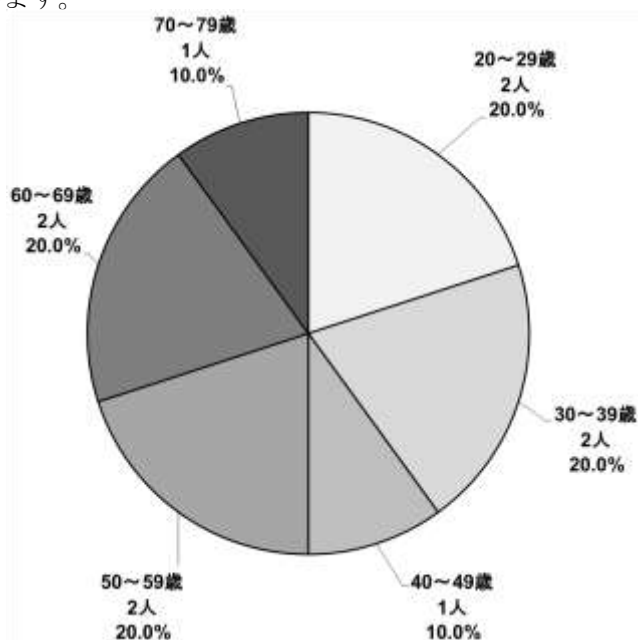
問2

年齢に○をつけてください。

<回答>

・「20歳代」「30歳代」「50歳代」「60歳代」それぞれ2人（20.0%）、「40歳代」と「70歳代」がそれぞれ1人（10.0%）となっています。

| | 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|---|--------|-----|-------|
| 1 | 16～19歳 | — | — |
| 2 | 20～29歳 | 2人 | 20.0% |
| 3 | 30～39歳 | 2人 | 20.0% |
| 4 | 40～49歳 | 1人 | 10.0% |
| 5 | 50～59歳 | 2人 | 20.0% |
| 6 | 60～69歳 | 2人 | 20.0% |
| 7 | 70～79歳 | 1人 | 10.0% |
| 8 | 80歳～ | — | — |

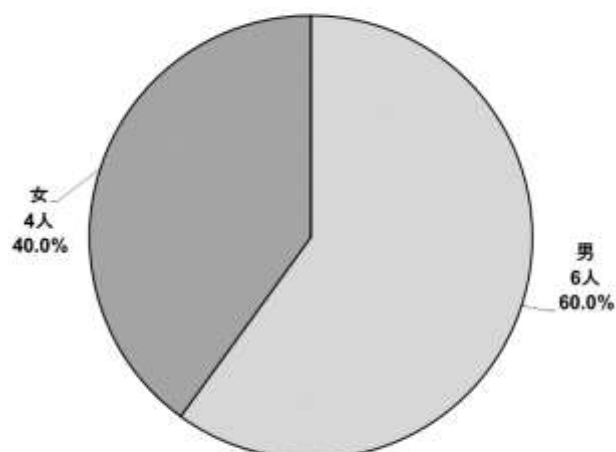
**問3**

性別に○をつけてください。

<回答>

・「男」が6人（60.0%）、「女」が4人（40.0%）となっています。

| | 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|---|-----|-----|-------|
| 1 | 男 | 6人 | 60.0% |
| 2 | 女 | 4人 | 40.0% |
| 3 | その他 | — | — |



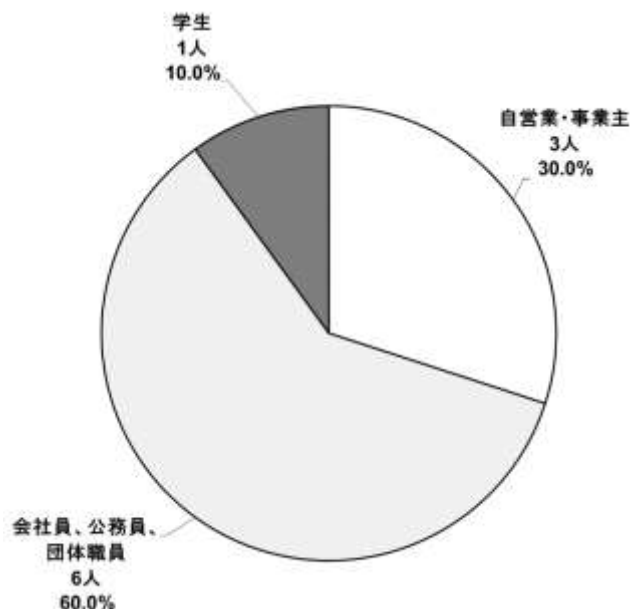
問4

職業に○をつけてください。

<回答>

・「会社員、公務員、団体職員」が6人（60.0%）、「自営業・事業主」が3人（30.0%）、「学生」が1人（10.0%）などの順になっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|-----------------------------|-----|-------|
| 1 自営業・事業主 | 3人 | 30.0% |
| 2 会社員、公務員、 団体職員 | 6人 | 60.0% |
| 3 パート・臨時 (非常勤、嘱託、派遣等を含む) | — | — |
| 4 その他就業者 (家族従業者、農業従業者等) | — | — |
| 5 家事専業 | — | — |
| 6 学生 | 1人 | 10.0% |
| 7 無職 | — | — |
| 8 その他 | — | — |



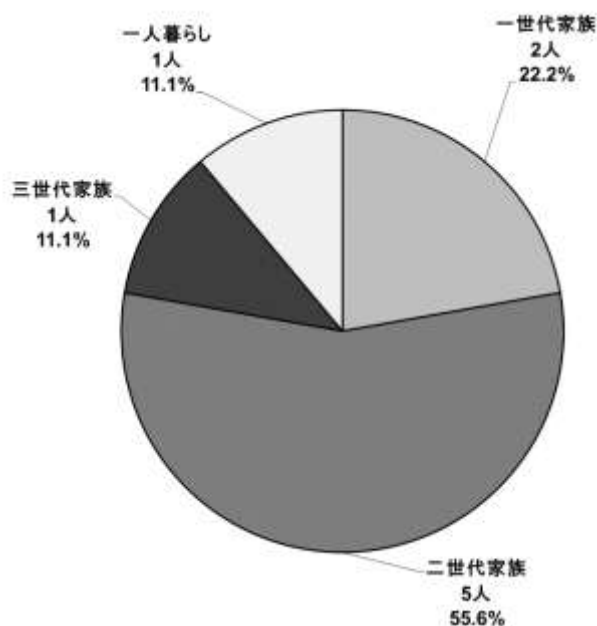
問5

同居する家族構成に○をつけてください。

<回答>

・「二世世代家族」が最も多く5人（55.6%）であり、次いで「二世世代家族」が2人（22.2%）、「三世世代家族」と「一人暮らし」がそれぞれ1人（11.1%）となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|--|-----|-------|
| 1 一世代家族 (例：あなたと 夫・妻・ パートナー) | 2人 | 22.2% |
| 2 二世世代家族 (例：あなたと 子ども・父母) | 5人 | 55.6% |
| 3 三世世代家族 (例：あなたと 子どもと孫・ 子どもと父母・ 祖父母と父母) | 1人 | 11.1% |
| 4 一人暮らし | 1人 | 11.1% |
| 5 その他 | — | — |



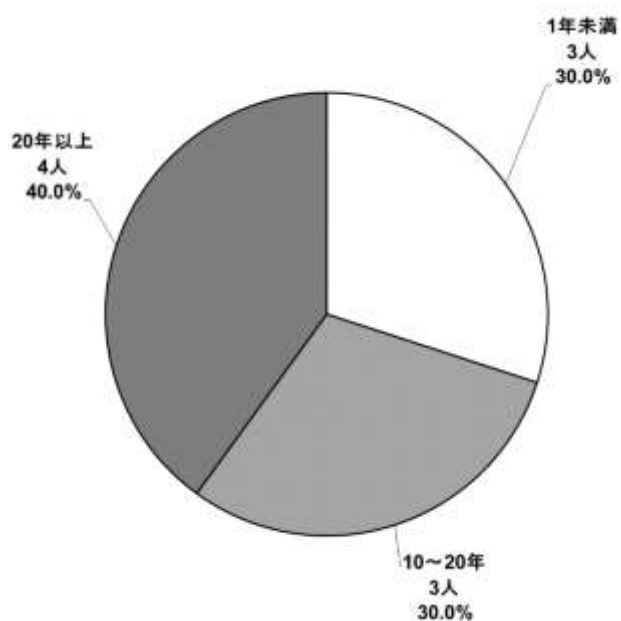
問6

世田谷区での居住年数に○をつけてください。

<回答>

・「20年以上」が4人(40.0%)、「1年未満」と「10年以上20年未満」がそれぞれ3人(30.0%)となっています。

| 町 | 回答数 | 割合 |
|--------------|-----|-------|
| 1 1年未満 | 3人 | 30.0% |
| 2 1年以上3年未満 | — | — |
| 3 3年以上6年未満 | — | — |
| 4 6年以上10年未満 | — | — |
| 5 10年以上20年未満 | 3人 | 30.0% |
| 6 20年以上 | 4人 | 40.0% |



2 身近なまちの満足度について

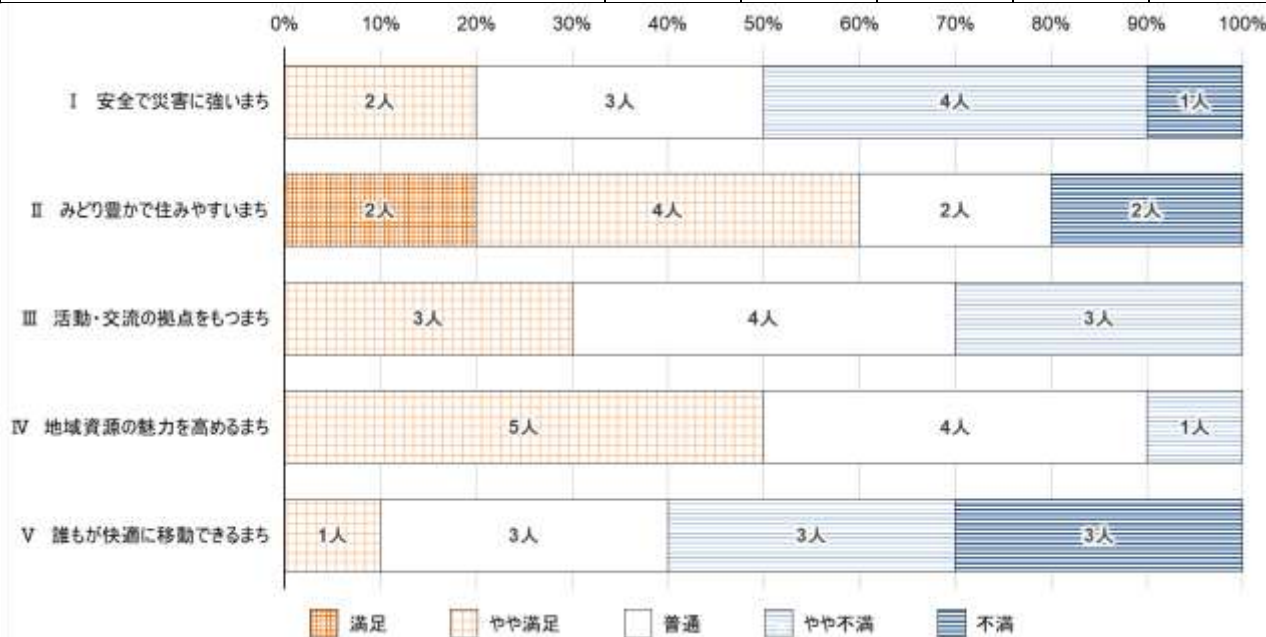
問7 (1)

平成27年4月に策定した「世田谷区都市整備方針（地域整備方針）」の中で、概ね20年後を見据えた烏山地域のまちの姿を、下表のⅠ～Ⅴの〈テーマ〉に沿って設定しました。お住まいのまちについて、Ⅰ～Ⅴのまちの姿に対する現在の満足度をお聞かせください。1（満足）から5（不満）のいずれかに○をつけてください。

<回答>

- ・テーマⅡの「みどり豊かで住みやすいまち」の「満足」と「やや満足」を合わせると6人（60.0%）で、満足度が比較的高くなっています。
- ・一方で、テーマⅤの「誰もが快適に移動できるまち」の「不満」と「やや不満」を合わせると6人（60.0%）で、満足度が比較的低くなっています。

| まちの姿 | 満足 | やや満足 | 普通 | やや不満 | 不満 |
|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| Ⅰ 安全で災害に強いまち 地域の軸となる主要な道路整備を通じて、誰もが安全で快適に移動でき、災害時に延焼遮断や延焼遅延、避難路確保等が可能な災害に強いまち | — | 2人 20.0% | 3人 30.0% | 4人 40.0% | 1人 10.0% |
| Ⅱ みどり豊かで住みやすいまち 農地や屋敷林の保全と、公園等の整備や民有地の緑化を進め、無秩序な市街地開発を抑制した、武蔵野の面影が残るまち | 2人 20.0% | 4人 40.0% | 2人 20.0% | — | 2人 20.0% |
| Ⅲ 活動・交流の拠点をもつまち 大規模な住宅団地の建替えなどに際し、自然環境と調和した道路や公園、公共施設等の整備を進め、新たなコミュニティの拠点を創出していく住みやすいまち | — | 3人 30.0% | 4人 40.0% | 3人 30.0% | — |
| Ⅳ 地域資源の魅力を高めるまち 烏山寺町のたたずまい、蘆花恒春園、文学館などを核とした歴史と文化、風土が調和した魅力あるまち | — | 5人 50.0% | 4人 40.0% | 1人 10.0% | — |
| Ⅴ 誰もが快適に移動できるまち 京王線連続立体交差事業や周辺道路の整備などを通じて、南北の交流と人びとが集う魅力あふれるまち | — | 1人 10.0% | 3人 30.0% | 3人 30.0% | 3人 30.0% |



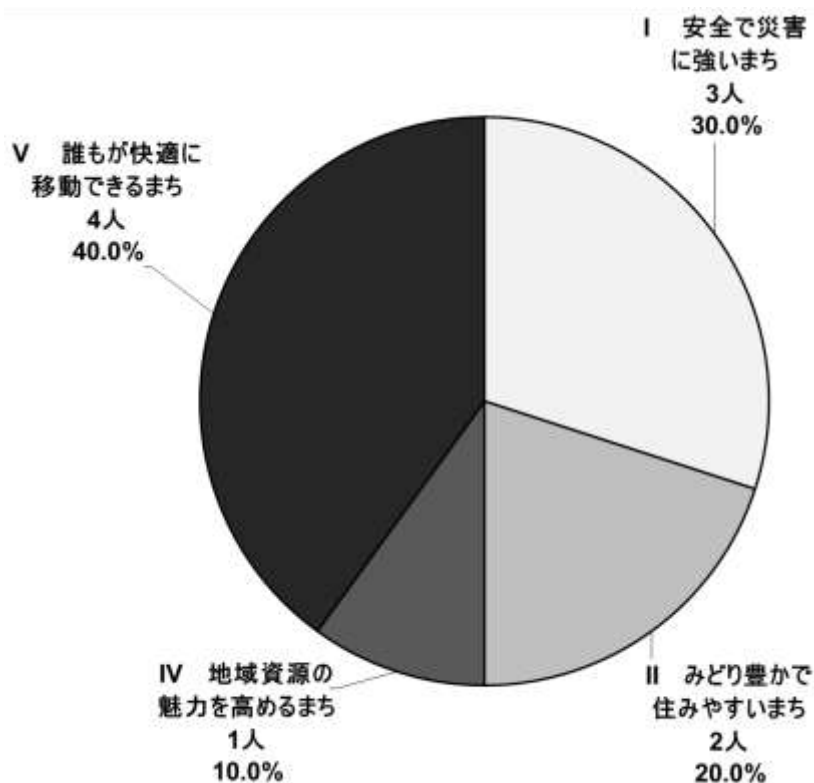
問7 (2)

I～Vの中で、あなたが特に重要だと思うもの1つに○をつけてください。

<回答>

- ・「誰もが快適に移動できるまち」が最も多く4人(40.0%)であり、次いで「安全で災害に強いまち」が3人(30.0%)、「みどり豊かで住みやすいまち」が2人(20.0%)、「地域資源の魅力高めるまち」が1人(10.0%)となっています。

| まちの姿 | 回答数 | 割合 |
|---|-----|-------|
| 〈I 安全で災害に強いまち〉 地域の軸となる主要な道路整備を通じて、誰もが安全で快適に移動でき、災害時に延焼遮断や延焼遅延、避難路確保等が可能な災害に強いまち | 3人 | 30.0% |
| 〈II みどり豊かで住みやすいまち〉 農地や屋敷林の保全と、公園等の整備や民有地の緑化を進め、無秩序な市街地開発を抑制した、武蔵野の面影が残るまち | 2人 | 20.0% |
| 〈III 活動・交流の拠点をもつまち〉 大規模な住宅団地の建替えなどに際し、自然環境と調和した道路や公園、公共公益施設等の整備を進め、新たなコミュニティの拠点を創出していく住みやすいまち | — | — |
| 〈IV 地域資源の魅力高めるまち〉 烏山寺町のたたずまい、蘆花恒春園、文学館などを核とした歴史と文化、風土が調和した魅力あるまち | 1人 | 10.0% |
| 〈V 誰もが快適に移動できるまち〉 京王線連続立体交差事業や周辺道路の整備などを通じて、南北の交流と人びとが集う魅力あふれるまち | 4人 | 40.0% |



I 安全で災害に強いまちについて

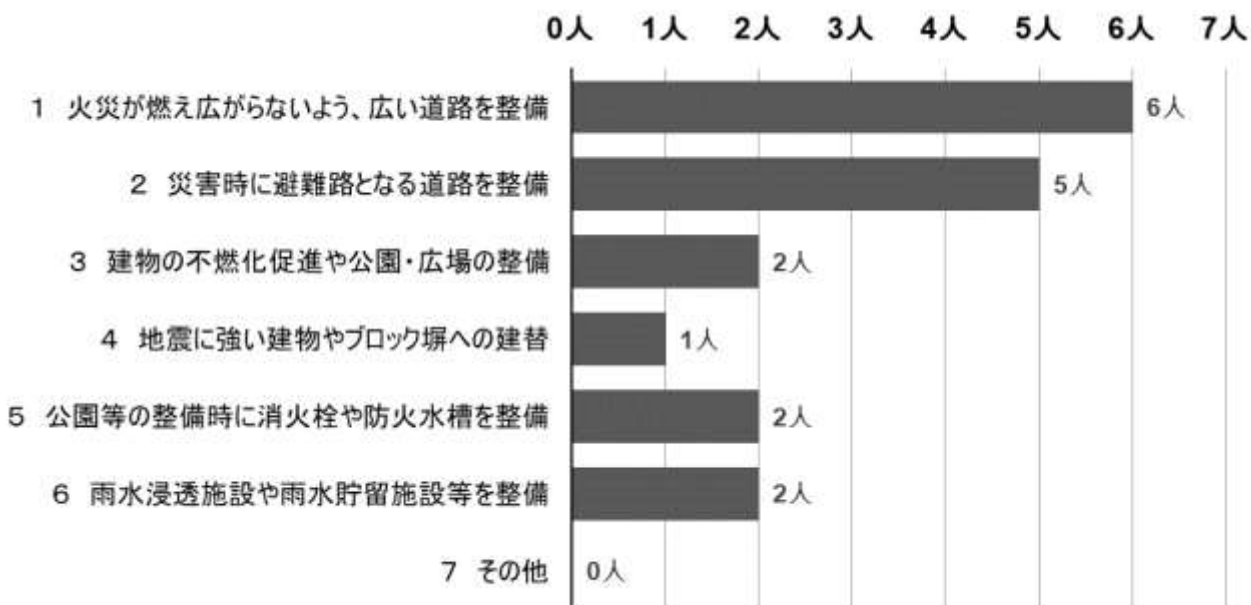
問8

お住まいのまちで、積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

・「火災が燃え広がらないよう、広い道路を整備する」が延べ6人（60.0%）、「防災拠点へのアクセスや、災害時に避難路となる道路を整備する」が延べ5人（50.0%）などの順となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|--|-----|-------|
| 1 火災が燃え広がらないよう、広い道路を整備する | 6人 | 60.0% |
| 2 防災拠点へのアクセスや、災害時に避難路となる道路を整備する | 5人 | 50.0% |
| 3 火災に強い燃えにくい建物への建替を促進したり、公園や広場などの空間を整備する | 2人 | 20.0% |
| 4 地震に強い建物や壊れにくいブロック塀の建替を促進する | 1人 | 10.0% |
| 5 公園等を整備する際に、火災時の消火に使用する消火栓や防火水槽をあわせて整備する | 2人 | 20.0% |
| 6 雨水が短時間に河川流れ込まないように、地面に浸透させる施設や一時的に雨水を貯める貯留槽などを整備する | 2人 | 20.0% |
| 7 その他 | — | — |



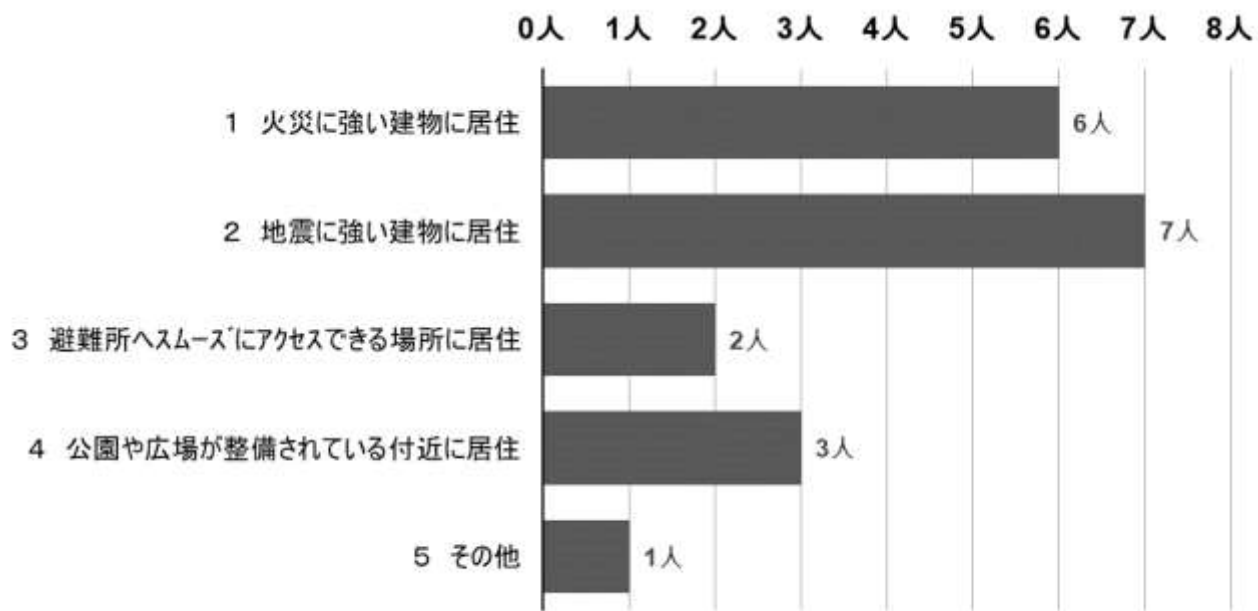
問9

災害時、及び災害への備えとして、あなたの現状に近いものすべてに○をつけてください。

<回答>

・「地震に強い建物に住んでいる」が延べ7人（77.8%）、「火災に強い建物に住んでいる」が延べ6人（66.7%）、「公園や広場が整備されている付近に住んでいる」が延べ3人（33.3%）などの順となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|--------------------------------|-----|-------|
| 1 火災に強い建物に住んでいる | 6人 | 66.7% |
| 2 地震に強い建物に住んでいる | 7人 | 77.8% |
| 3 災害時に避難所へスムーズにアクセスできる場所に住んでいる | 2人 | 22.2% |
| 4 公園や広場が整備されている付近に住んでいる | 3人 | 33.3% |
| 5 その他 | 1人 | 11.1% |



★「その他」の内容

避難所に行かなくていいよう、自宅に備蓄をしている。

Ⅱ みどり豊かで住みやすいまちについて

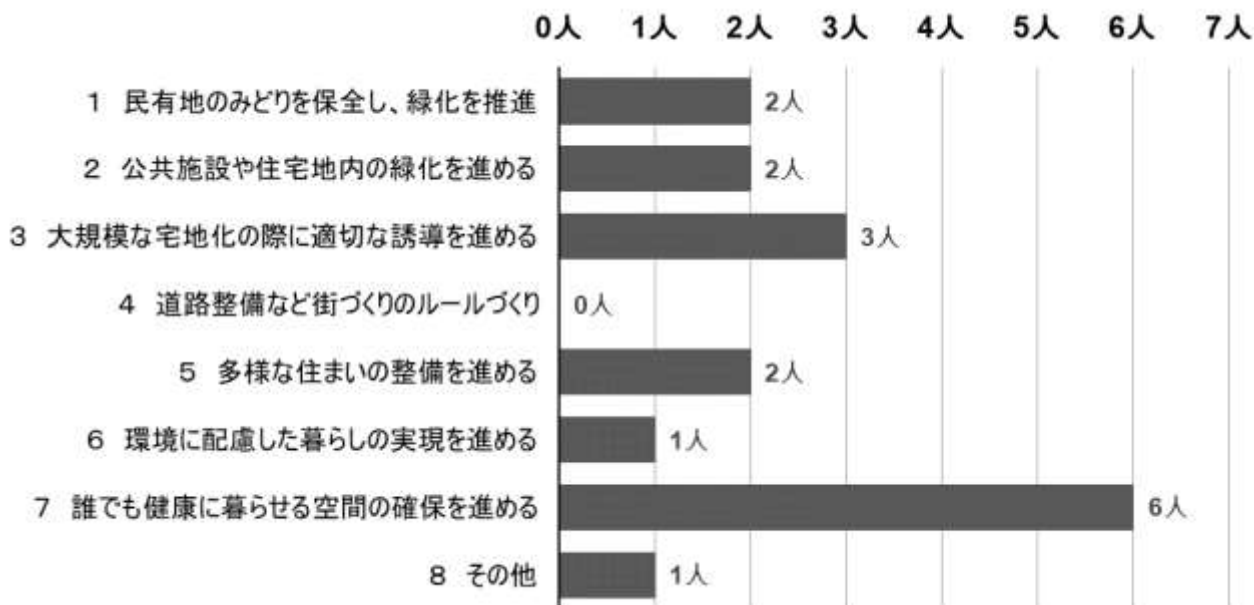
問10

お住まいのまちで、積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

・「休憩できるベンチ等があり、歩いて楽しい歩行空間や緑道に沿ったジョギングコースなど、誰でも健康に暮らせる空間の確保を進める」が最も多く、延べ6人（60.0%）となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|--|-----|-------|
| 1 武蔵野の面影を残す民有地のみどり（樹林地や農地など）を保全し、緑化を推進する | 2人 | 20.0% |
| 2 地域内のみどりが連続するよう、公共施設や住宅地内の緑化を進める | 2人 | 20.0% |
| 3 大規模な敷地における宅地化や団地の建替えなどがある場合は、優良な住宅の創出や道路・公園整備、緑化など適切な誘導を進める | 3人 | 30.0% |
| 4 道路整備など街づくりのルールを定め、良好な住環境の維持・保全を図る | — | — |
| 5 子育てしやすい住宅や単身者用住宅、交流の場となる地域に開かれた住まいなど多様な住まいの整備を進める | 2人 | 20.0% |
| 6 公共施設や住宅の省エネルギー化、再生可能エネルギーの導入など、環境に配慮した暮らしの実現を進める | 1人 | 10.0% |
| 7 休憩できるベンチ等があり、歩いて楽しい歩行空間や緑道に沿ったジョギングコースなど、誰でも健康に暮らせる空間の確保を進める | 6人 | 60.0% |
| 8 その他 | 1人 | 10.0% |



★「その他」の内容

市民自らが共助の精神をもって維持管理し、美しい景観を享受する経験を重ねることで、「みどり豊かで住みやすいまち」づくりの意識も自ずと高まるはずである。
「世田谷みどり33」は「量」的目標とばかり認識されているが、「質」と「協働」も同じく目標として掲げられている。

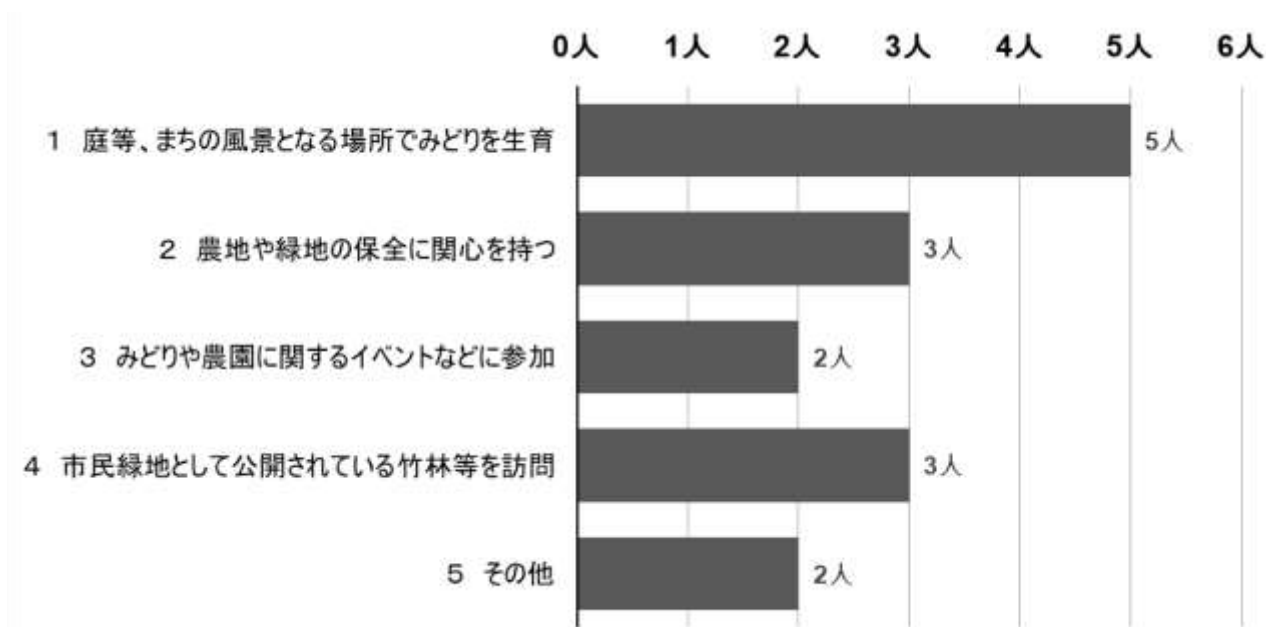
問 1 1

みどりに関わる活動や暮らしを楽しむために、あなたが現状行っている、若しくは行いたいと思うことすべてに○をつけてください。

<回答>

- ・「自宅の庭やバルコニーなど、まちの風景となる場所でみどりを育てる」が延べ5人（50.0%）、
「農地や緑地の保全に関心を持つ」と「市民緑地として公開されている竹林や屋敷林を訪れる」がそれぞれ延べ3人（30.0%）などの順となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|-----------------------------------|-----|-------|
| 1 自宅の庭やバルコニーなど、まちの風景となる場所でみどりを育てる | 5人 | 50.0% |
| 2 農地や緑地の保全に関心を持つ | 3人 | 30.0% |
| 3 みどりや農園に関する講座やイベントなどに参加する | 2人 | 20.0% |
| 4 市民緑地として公開されている竹林や屋敷林を訪れる | 3人 | 30.0% |
| 5 その他 | 2人 | 20.0% |



★「その他」の内容

公園や緑道を訪れる。

行政や市民との協働により、みどりの保全・創出活動に携わっている。

Ⅲ 活動・交流の拠点をもつまちについて

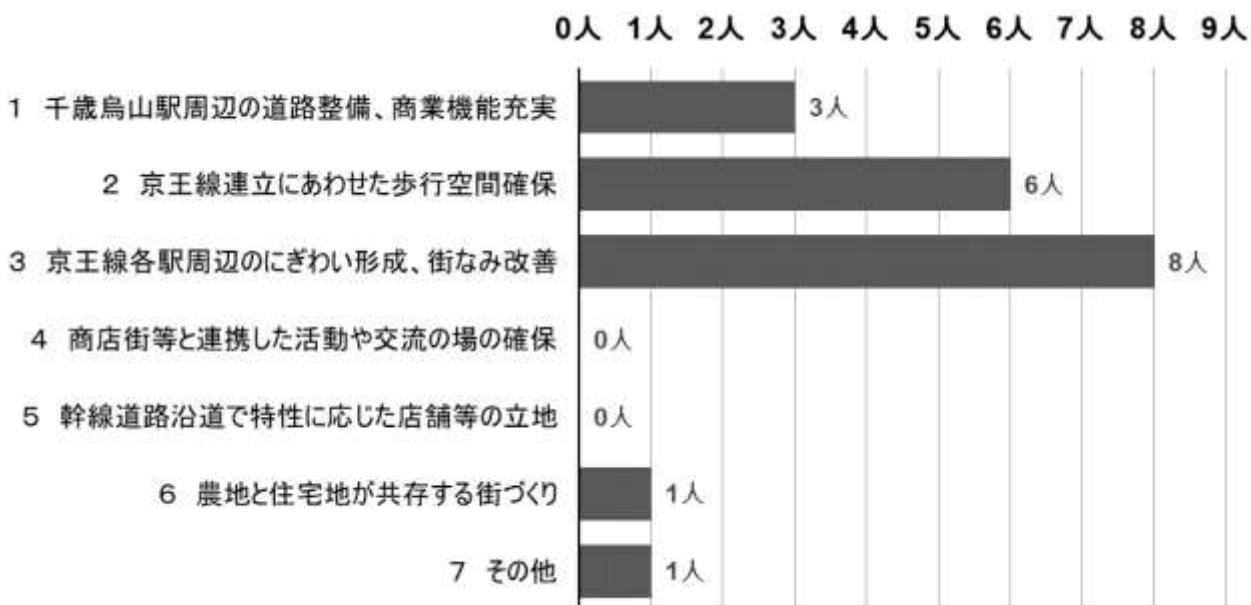
問 1 2

お住まいのまちで、積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

- ・「京王線各駅周辺において、連続立体交差事業にあわせ、駅前の整備、駐輪場の整備などによる安全・快適な歩行空間を確保する」が延べ8人（80.0%）、「京王線各駅周辺において、まちの魅力を構成する商業・業務施設、文化施設、公共施設などの整備や駅周辺のにぎわい形成、街なみ改善を進める」が延べ6人（60.0%）、「千歳烏山駅周辺において、道路や駅前広場の整備とともに商業や交流機能を充実させるなど、にぎわいとコミュニティの中心となるまちを形成する」が延べ3人（30.0%）などの順となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|--|-----|-------|
| 1 千歳烏山駅周辺において、道路や駅前広場の整備とともに商業や交流機能を充実させるなど、にぎわいとコミュニティの中心となるまちを形成する | 3人 | 30.0% |
| 2 京王線各駅周辺において、連続立体交差事業にあわせ、駅前の整備、駐輪場の整備などによる安全・快適な歩行空間を確保する | 6人 | 60.0% |
| 3 京王線各駅周辺において、まちの魅力を構成する商業・業務施設、文化施設、公共施設などの整備や駅周辺のにぎわい形成、街なみ改善を進める | 8人 | 80.0% |
| 4 商店街や事業者等と連携し、活動や交流の場を確保する | — | — |
| 5 幹線道路沿道では、沿道の特性に応じた店舗や事業所の立地を進める | — | — |
| 6 農地を保全・育成し、農地と住宅地が共存する街づくりを進める | 1人 | 10.0% |
| 7 その他 | 1人 | 10.0% |



★「その他」の内容

北烏山7丁目緑地や高源院の鴨池など、烏山地域にはみどりの保全を通じた市民交流の拠点となり得る場がいくつもある。地域の団体・個人の力を糾合してグリーン・コンソーシアムのようなプラットフォームを組織し、行政と連携しつつ、みどりのまちづくりを進める仕組みを構想すべき時に来ていると思う。

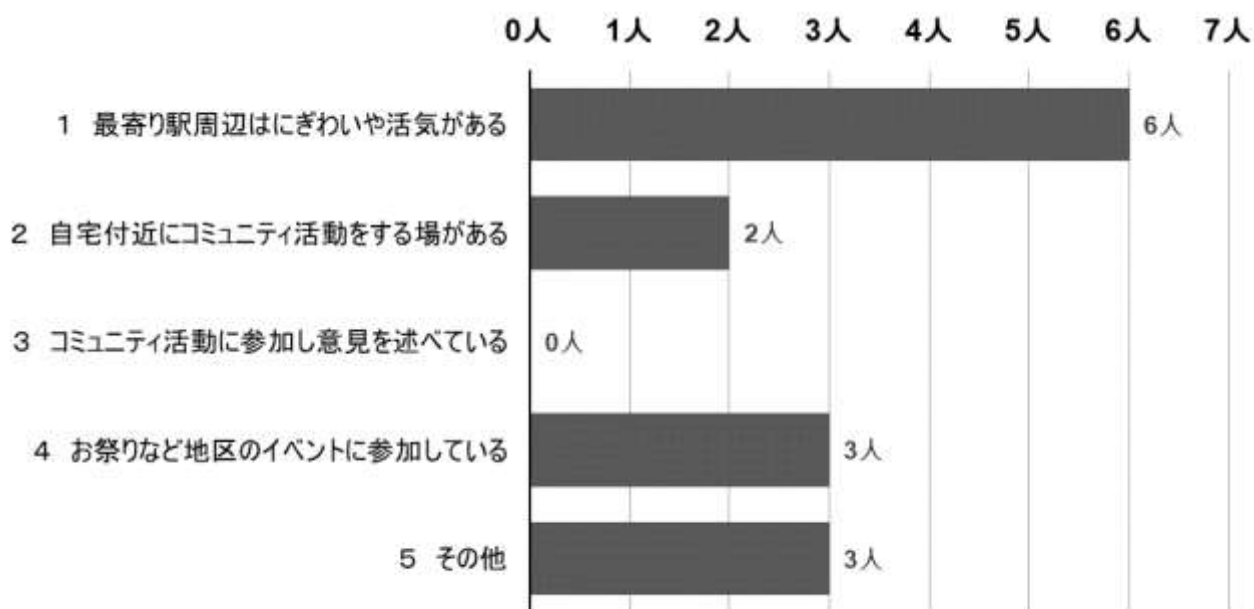
問 1 3

コミュニティ形成に関する地域の状況や、コミュニティを形成する行動について、近いものにすべてに○をつけてください。

<回答>

- ・「最寄り駅周辺はにぎわいや活気がある」が延べ6人（66.7%）、「お祭りなど地区のイベントに参加している」と「その他」がそれぞれ延べ3人（33.3%）などの順となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|------------------------|-----|-------|
| 1 最寄り駅周辺はにぎわいや活気がある | 6人 | 66.7% |
| 2 自宅付近にコミュニティ活動をする場がある | 2人 | 22.2% |
| 3 コミュニティ活動に参加し意見を述べている | — | — |
| 4 お祭りなど地区のイベントに参加している | 3人 | 33.3% |
| 5 その他 | 3人 | 33.3% |



★「その他」の内容

駅周辺は何もなく、商店街も活気がない。
近所の回覧板には助けて頂いています。

南烏山のコミュニティカフェでは11月に「防災イベント」が開催され、まちづくりセンター職員による「在宅避難」をテーマとした講演などがあった。また、起震車体験や消防訓練などと共に、「世田谷落ち葉ひろいりレー」も同時開催され、団地内菜園産のサトイモ入りの豚汁が炊き出し訓練の一環で参加者にふるわれた。「みどり」は、福祉やコミュニティ活動と極めて親和性が高い。また地域特性にも合致していると思う。

IV 地域資源の魅力を高めるまちについて

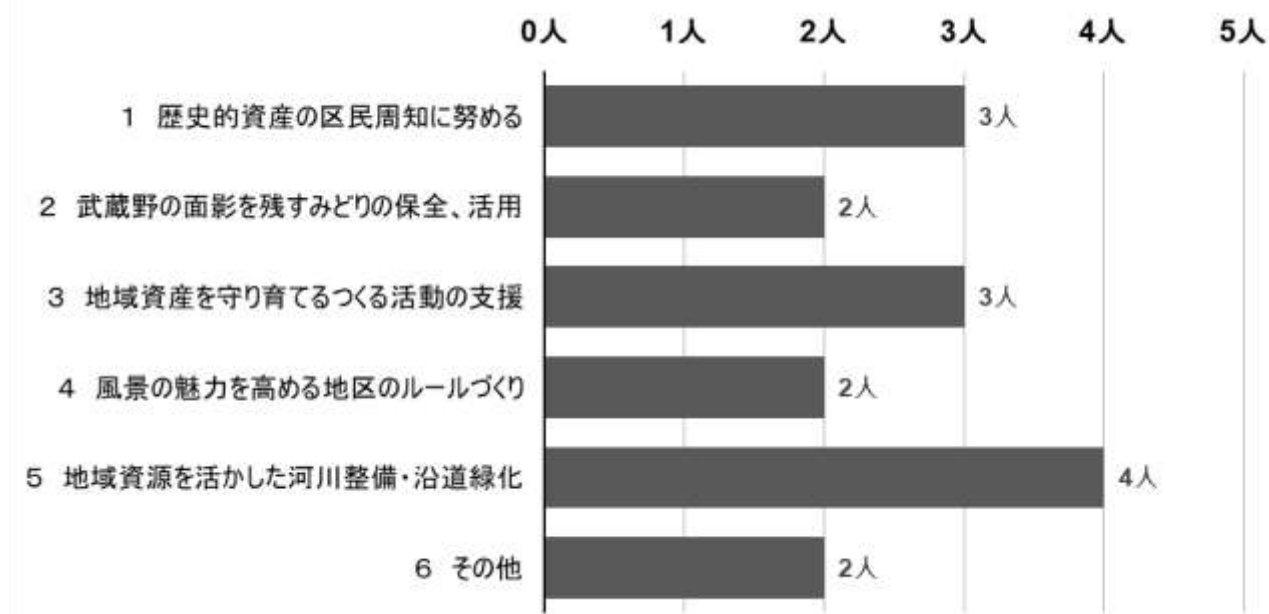
問 1 4

お住まいのまちで、積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

・「仙川や烏山川などの身近な地域資源を活かし、河川・水路を整備し、沿道緑化等を進める」が延べ4人（40.0%）、「烏山寺町、蘆花恒春園などの歴史的資産の区民周知に努める」と「地域住民が地域資産を守り・育て・つくるための活動の支援する」がそれぞれ延べ3人（30.0%）などの順となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|---|-----|-------|
| 1 烏山寺町、蘆花恒春園などの歴史的資産の区民周知に努める | 3人 | 30.0% |
| 2 武蔵野の面影を残す屋敷林、社寺林、松沢病院周辺などのみどりの保全、活用に取り組む | 2人 | 20.0% |
| 3 地域住民が地域資産を守り・育て・つくるための活動の支援する | 3人 | 30.0% |
| 4 まち全体の風景の魅力を高める地区のルールづくりを進め、例えば建物などの外観について指導・誘導を行う | 2人 | 20.0% |
| 5 仙川や烏山川などの身近な地域資源を活かし、河川・水路を整備し、沿道緑化等を進める | 4人 | 40.0% |
| 6 その他 | 2人 | 20.0% |



★「その他」の内容

烏山寺町がそもそもどこか知らない。

駅前の活性化に取り組む。

問 15

烏山地域内において「まちの魅力」の視点で、よい、もしくはよくなったと感じる場所や状況があれば、理由を添えて教えてください。

<回答>

- ・公園や千歳烏山駅周辺地区などに関する意見が挙がっています。

● 上北沢二丁目地区、上北沢駅周辺地区

| 場所 | 理由 |
|-----|------------------|
| 上北沢 | 公園が多く、また整備されている。 |

● 千歳烏山駅周辺地区

| 場所 | 理由 |
|--------------|--|
| 駅前のスーパーマーケット | 唯一無二の品揃えで、美味しい惣菜が売られている。 |
| 千歳烏山駅周辺の商店街 | 魅力ある個人店舗が少なく、店舗面積が小さいので利便性を感じない。明らかに非協力的な地権者により開発が遅れ競争力が失われている。 |
| 千歳烏山駅周辺の集合住宅 | 集合住宅の植栽を管理して10年近くになるが、現在は100近い大小のプランターで緑化している。歩道植栽のツツジ・アベリアの植えつぶしを、さまざまな低木・草本に植替えて「コミュニティ・ガーデン」とした。グリーン・インフラは、世田谷区においては現在、「雨水流出抑制」が主な目的となっているが、2018年にグリーン・インフラが初めて区の計画として明記された際には「豪雨対策行動計画」のみならず「みどりの基本計画」においても言及された。前者の米国型（雨水流出抑制）と後者の欧州型（生態系サービスの利用）、双方が同時に明記されたからこそ意義深かったのだし、特に後者は一般市民でも容易に取り組める活動であり、当該事例はまさにその典型である。 国土交通省は、ウォークアブルなまちづくりを推進しており、国交省＝米国型／環境省＝欧州型 というような棲み分けは、もはや過去のものである。気候変動の脅威が年々深刻化してきた今こそ、みどりの効用を最大化するために、グリーンインフラの両側面からの活用を図ること、庁内連携におしとどめることなく、国のグリーンインフラ政策同様、「官民連携プラットフォーム」とすることが、必要だと思う。 |

● 上祖師谷四丁目地区

| 場所 | 理由 |
|-------|-----------|
| 祖師谷公園 | 解放感があるから。 |

● 蘆花恒春園、世田谷文学館周辺

| 場所 | 理由 |
|-------|-------------------------|
| 蘆花恒春園 | 烏山地域蘆花まつりはとても活気があり良かった。 |

V 誰もが快適に移動できるまちについて

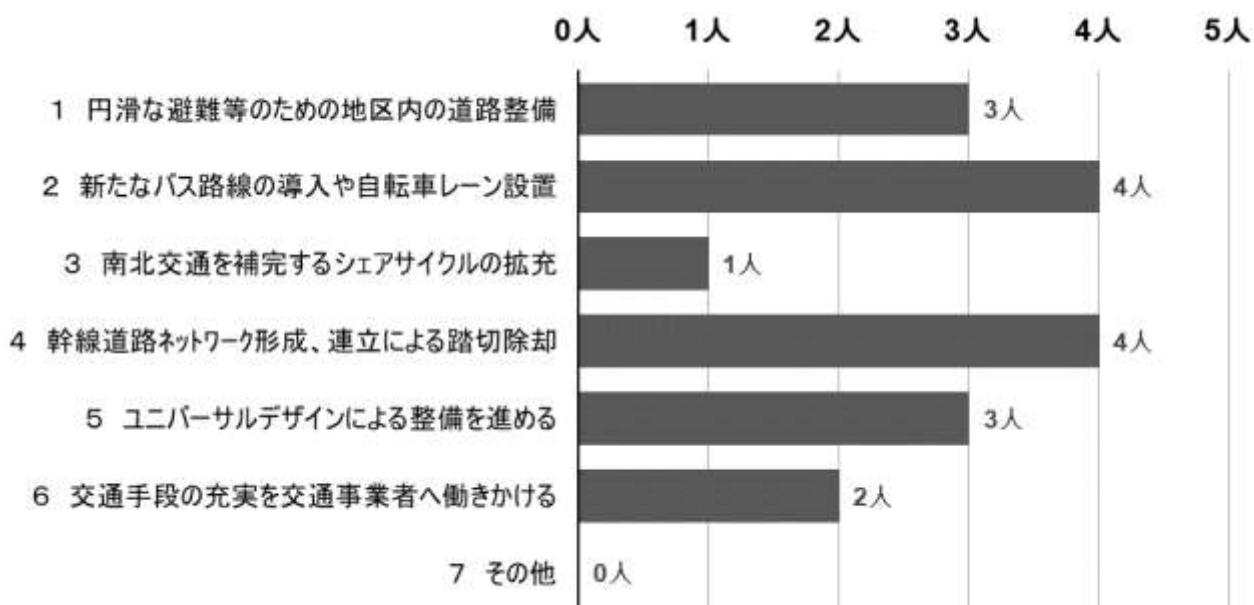
問 16

お住まいのまちで、積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの 2つに○をつけてください。

<回答>

- ・「安全で快適な移動を実現するために、新たなバス路線の導入や自転車レーン設置が可能な道路整備などを進める」と「渋滞緩和や円滑な自動車交通を確保するために、幹線道路のネットワーク形成や、連続立体交差事業による踏切の除却などを進める」が最も多く、それぞれ延べ4人（44.4%）となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|---|-----|-------|
| 1 災害時の避難や消防活動が円滑となるよう、地区内の道路整備を進める | 3人 | 33.3% |
| 2 安全で快適な移動を実現するために、新たなバス路線の導入や自転車レーン設置が可能な道路整備などを進める | 4人 | 44.4% |
| 3 南北交通を補完するために、シェアサイクルを拡充する | 1人 | 11.1% |
| 4 渋滞緩和や円滑な自動車交通を確保するために、幹線道路のネットワーク形成や、連続立体交差事業による踏切の除却などを進める | 4人 | 44.4% |
| 5 誰もが快適に移動できるよう、公共施設や鉄道施設、施設をつなぐ道路について、ユニバーサルデザインによる整備を進める | 3人 | 33.3% |
| 6 誰もが安全・快適に利用できるよう、交通手段の充実を交通事業者へ働きかける | 2人 | 22.2% |
| 7 その他 | — | — |



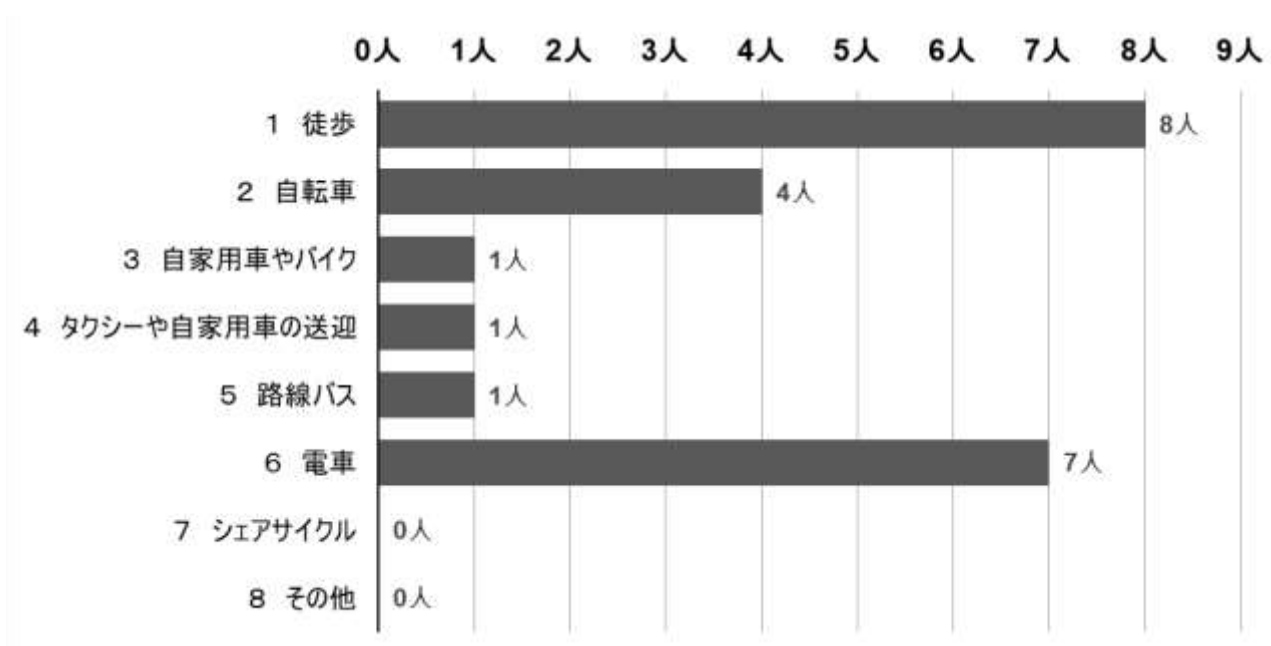
問17

日常の主な移動手段について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

<回答>

- ・「徒歩」が最も多く延べ8人（80.0%）、「電車」が延べ7人（70.0%）、「自転車」が延べ4人（40.0%）などの順となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|----------------|-----|-------|
| 1 徒歩 | 8人 | 80.0% |
| 2 自転車 | 4人 | 40.0% |
| 3 自家用車やバイク | 1人 | 10.0% |
| 4 タクシーや自家用車の送迎 | 1人 | 10.0% |
| 5 路線バス | 1人 | 10.0% |
| 6 電車 | 7人 | 70.0% |
| 7 シェアサイクル | — | — |
| 8 その他 | — | — |



3 烏山地域の街づくりの取組みについて

I 大規模団地の建替えにともなう街づくりについて

(烏山北住宅及び烏山松葉通住宅、都営烏山アパート、都営粕谷二丁目アパート、都営八幡山アパート)

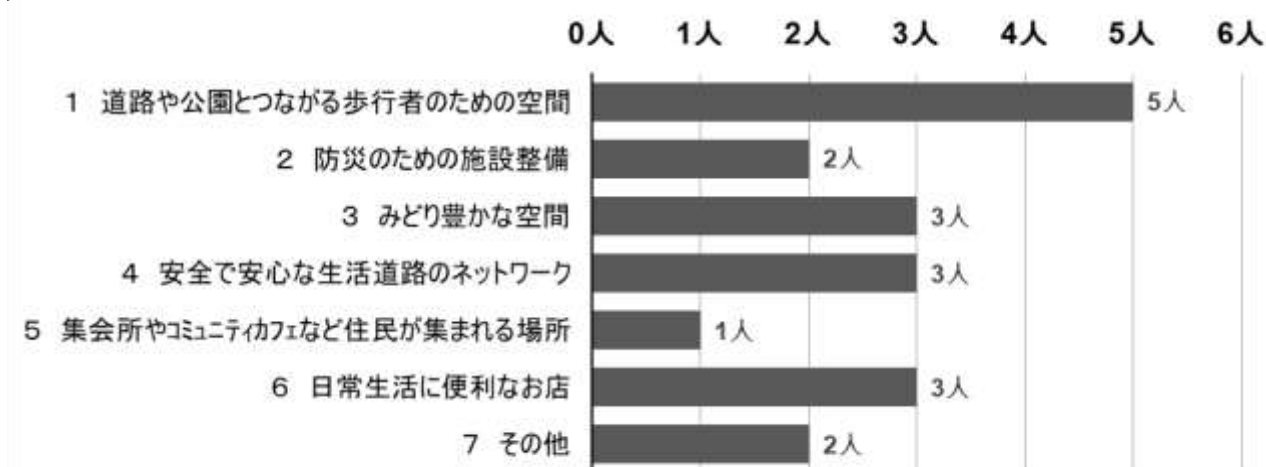
問18

今後の大規模団地の建替えにともなう街づくりに期待すること、気になることについて、あてはまるもの2つまで○をつけてください。

<回答>

・「道路や公園とつながる歩行者のための空間」が最も多く、延べ5人(50.0%)となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|-----------------------------------|-----|-------|
| 1 道路や公園とつながる歩行者のための空間 | 5人 | 50.0% |
| 2 防災のための施設整備(燃えにくい建物、オープンスペースの確保) | 2人 | 20.0% |
| 3 みどり豊かな空間 | 3人 | 30.0% |
| 4 安全で安心な生活道路のネットワーク | 3人 | 30.0% |
| 5 集会所やコミュニティカフェなどの地域住民が集まれる場所 | 1人 | 10.0% |
| 6 日常生活に便利なお店 | 3人 | 30.0% |
| 7 その他 | 2人 | 20.0% |



★「その他」の内容

商業施設。

北烏山の団地建替えは、極めて重要な計画であり、ぜひとも成功させていただきたい。

1. 公園 経年の変化に対応可能な設備計画を立てるべきだと思う。
2. 道路 イチョウ並木などの高木が多く、これらを活かしてウォークアブルな歩道整備を行ってほしい。電線の地下化・段差のない歩道など、ユニバーサルデザインの取組みも強化していただきたい。烏山川暗渠の緑道としての利活用など、魅力的な景観を実現していただきたい。北住宅は、すべてが中層住宅で、芝生などのオープンスペースが広くとられている。こうした大規模再開発でみどり率を低下させず、逆に向上させることなしに、世田谷みどり33の量的目標を達成できるはずはない。高層化は、みどり率の向上のためにのみ許容されるものであってほしい。また、屋上緑化が最大限採り入れられるよう望む。

Ⅱ 京王線沿線街づくりについて (千歳烏山駅～芦花公園駅～八幡山駅～上北沢駅)

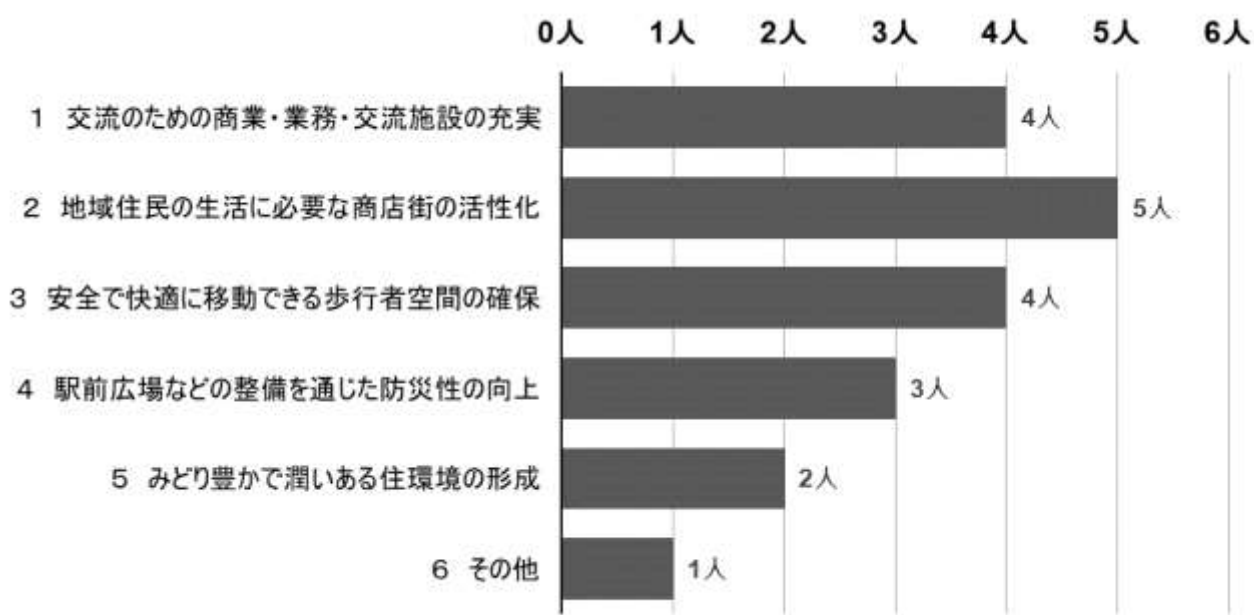
問19

京王線沿線街づくりのうち、主要な地域の生活拠点である千歳烏山駅周辺の街づくりに期待すること、気になることについて、あてはまるもの2つまで○をつけてください。

<回答>

- ・「地域住民の生活に必要な商店街の活性化」が延べ5人（50.0%）、「人々の交流のための商業・業務・交流施設の充実」と「誰もが安全で快適に移動できる歩行者空間の確保」がそれぞれ延べ4人（40.0%）などの順となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|------------------------------|-----|-------|
| 1 人々の交流のための商業・業務・交流施設の充実 | 4人 | 40.0% |
| 2 地域住民の生活に必要な商店街の活性化 | 5人 | 50.0% |
| 3 誰もが安全で快適に移動できる歩行者空間の確保 | 4人 | 40.0% |
| 4 駅前広場などの整備を通じた防災性の向上 | 3人 | 30.0% |
| 5 沿線の緑化を促進し、みどり豊かで潤いある住環境の形成 | 2人 | 20.0% |
| 6 その他 | 1人 | 10.0% |



★「その他」の内容

仙川のように若者が住みやすい街にしてほしい。大きめの商業施設もなく、駅前の活気が仙川に負けている。千歳烏山を選んで住んでいる理由は、特急が停まることのみである。特急が停まる仙川の世界線では、明らかに仙川に住みたいと思う。

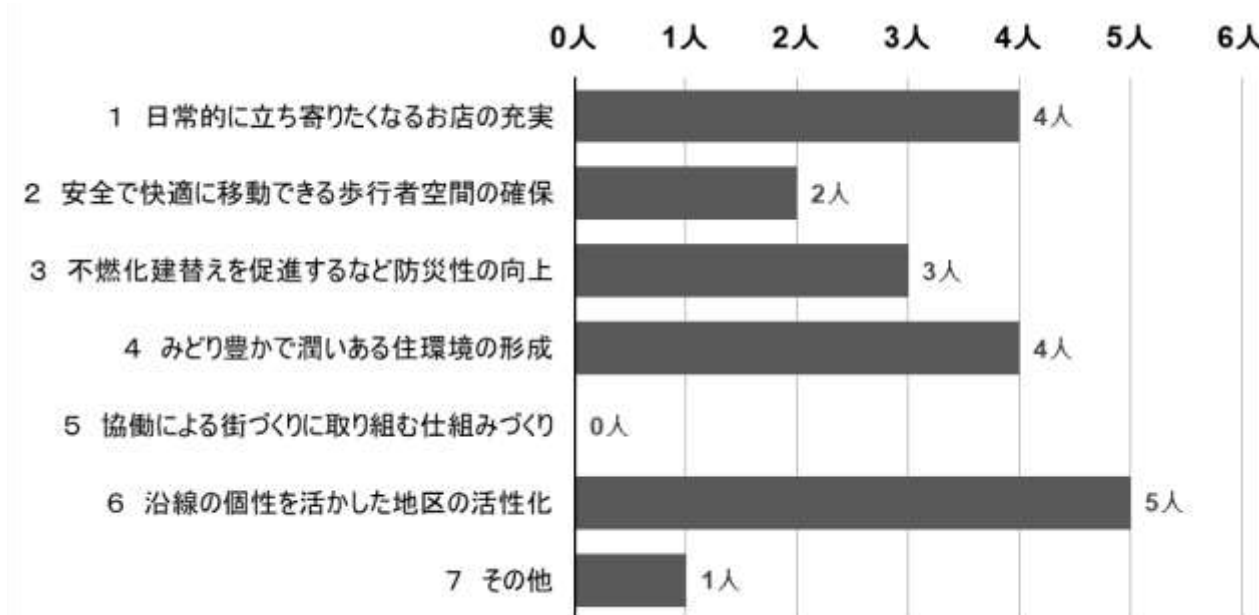
問 2 0

京王線沿線街づくりのうち、芦花公園駅周辺の街づくりに期待すること、気になることについて、あてはまるもの2つまで○をつけてください。

<回答>

- ・「沿線の歴史・文化やみどりの資産など、個性を活かした地区の活性化」が延べ5人（50.0%）、
「日常的に立ち寄りたくなるお店の充実」と「沿線の緑化を促進し、みどり豊かで潤いある住環境の形成」がそれぞれ延べ4人（40.0%）などの順となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|--|-----|-------|
| 1 日常的に立ち寄りたくなるお店の充実 | 4人 | 40.0% |
| 2 誰もが安全で快適に移動できる歩行者空間の確保 | 2人 | 20.0% |
| 3 火災に強い燃えにくい建物への建替えを促進するなど、防災性の向上 | 3人 | 30.0% |
| 4 沿線の緑化を促進し、みどり豊かで潤いある住環境の形成 | 4人 | 40.0% |
| 5 沿線地域に関わる多様な主体が交流し、協働による街づくりに取り組む仕組みづくり | — | — |
| 6 沿線の歴史・文化やみどりの資産など、個性を活かした地区の活性化 | 5人 | 50.0% |
| 7 その他 | 1人 | 10.0% |



★「その他」の内容

各駅停車しか停まらないので、そもそも下車しない。

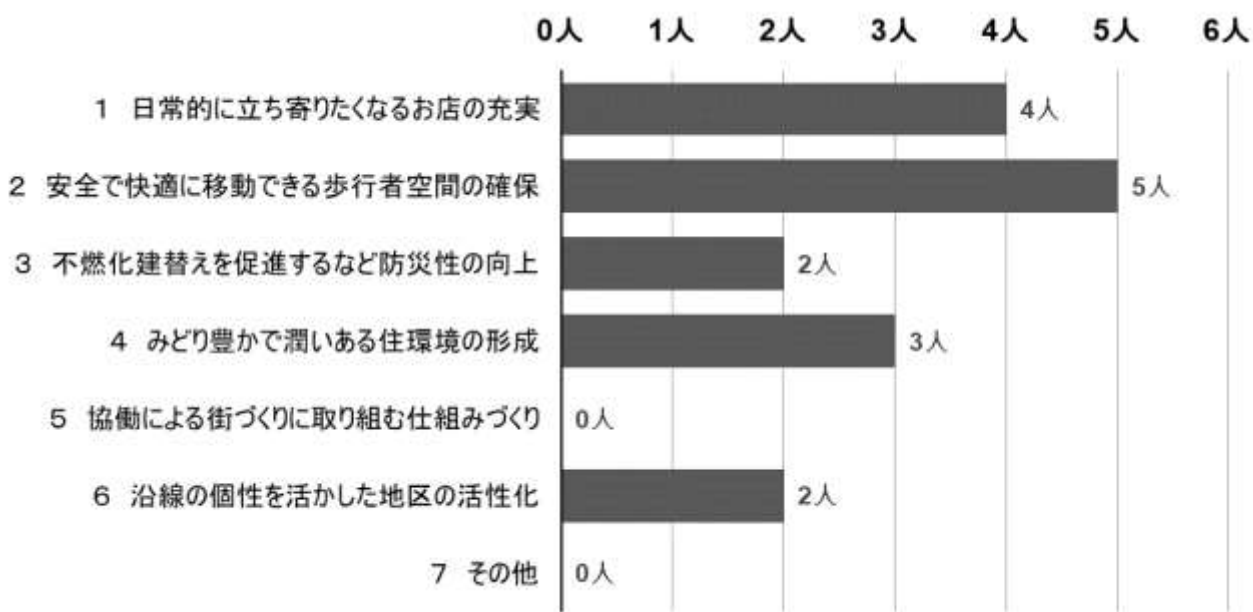
問 2 1

京王線沿線街づくりのうち、八幡山駅周辺の街づくりに期待すること、気になることについて、あてはまるもの2つまで○をつけてください。

<回答>

- ・「誰もが安全で快適に移動できる歩行者空間の確保」が延べ5人（55.5%）、「日常的に立ち寄りたくなるお店の充実」が延べ4人（44.4%）、「沿線の緑化を促進し、みどり豊かで潤いある住環境の形成」が延べ3人（33.3%）などの順となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|--|-----|-------|
| 1 日常的に立ち寄りたくなるお店の充実 | 4人 | 44.4% |
| 2 誰もが安全で快適に移動できる歩行者空間の確保 | 5人 | 55.6% |
| 3 火災に強い燃えにくい建物への建替えを促進するなど、防災性の向上 | 2人 | 22.2% |
| 4 沿線の緑化を促進し、みどり豊かで潤いある住環境の形成 | 3人 | 33.3% |
| 5 沿線地域に関わる多様な主体が交流し、協働による街づくりに取り組む仕組みづくり | — | — |
| 6 沿線の歴史・文化やみどりの資産など、個性を活かした地区の活性化 | 2人 | 22.2% |
| 7 その他 | — | — |



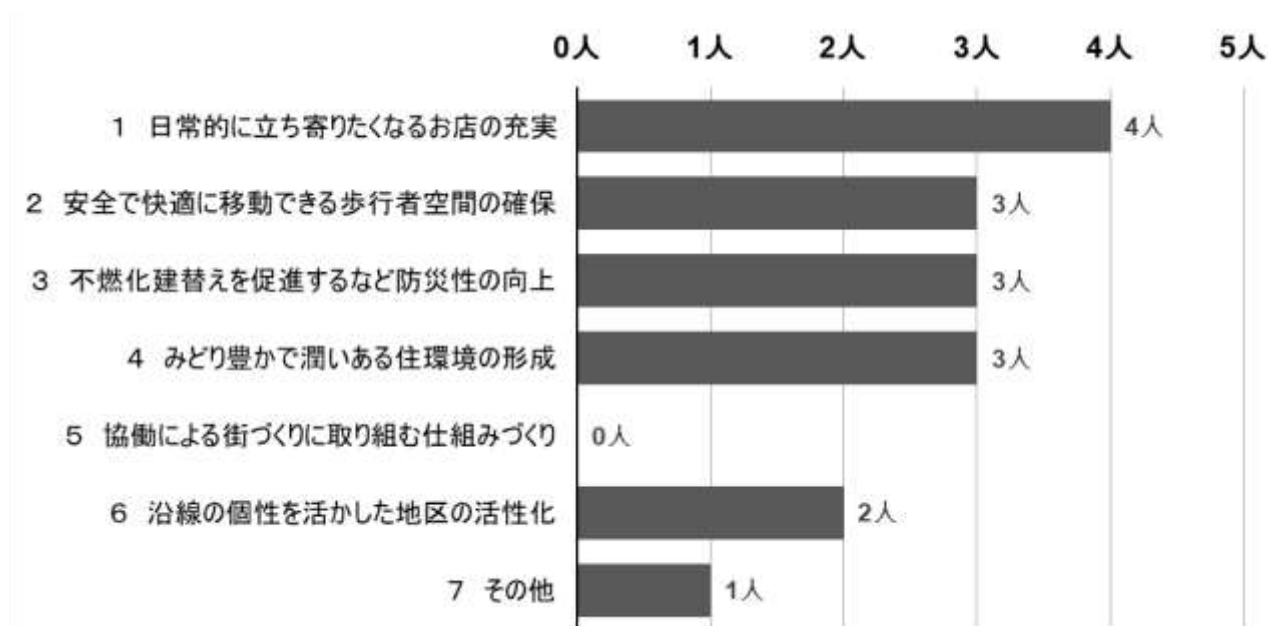
問 2 2

京王線沿線街づくりのうち、上北沢駅周辺の街づくりに期待すること、気になることについて、あてはまるもの2つまで○をつけてください。

<回答>

・「日常的に立ち寄りたくなるお店の充実」が延べ4人（44.4%）、「誰もが安全で快適に移動できる歩行者空間の確保」「火災に強い燃えにくい建物への建替えを促進するなど、防災性の向上」「沿線の緑化を促進し、みどり豊かで潤いある住環境の形成」がそれぞれ延べ3人（33.3%）などの順となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|--|-----|-------|
| 1 日常的に立ち寄りたくなるお店の充実 | 4人 | 44.4% |
| 2 誰もが安全で快適に移動できる歩行者空間の確保 | 3人 | 33.3% |
| 3 火災に強い燃えにくい建物への建替えを促進するなど、防災性の向上 | 3人 | 33.3% |
| 4 沿線の緑化を促進し、みどり豊かで潤いある住環境の形成 | 3人 | 33.3% |
| 5 沿線地域に関わる多様な主体が交流し、協働による街づくりに取り組む仕組みづくり | — | — |
| 6 沿線の歴史・文化やみどりの資産など、個性を活かした地区の活性化 | 2人 | 22.2% |
| 7 その他 | 1人 | 11.1% |

**★「その他」の内容**

各駅停車しか停まらないので、そもそも下車しない。

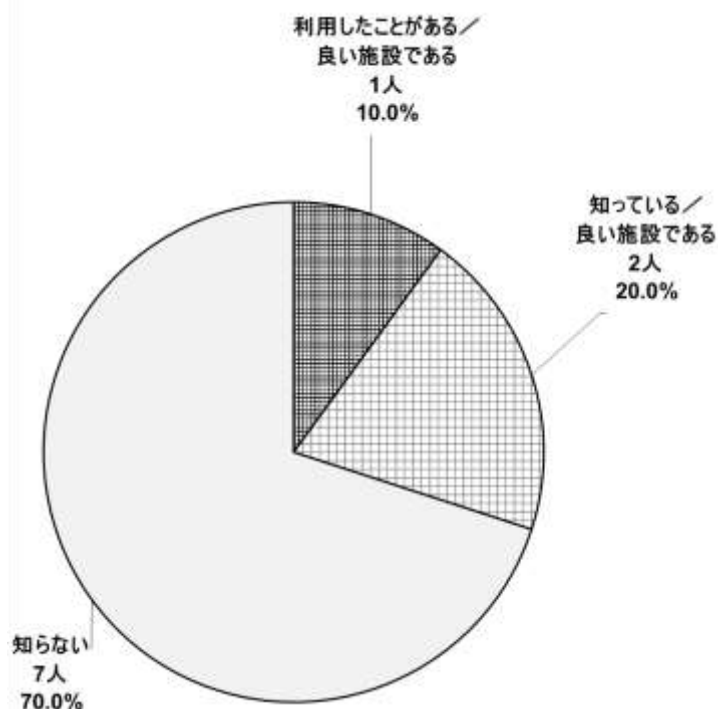
問 2 3

近年、烏山地域に完成した「セ タ ガ ヤ SETAGAYA キューズガーデン Qs-GARDEN (第一生命グラウンド) について、利用したことはありますか。利用状況と感想をその理由を添えて教えてください。

<回答>

- ・利用状況としては「知らない」が最も多く7人(70.0%)、「知っている」が2人(20.0%)、「利用したことがある」が1人(10.0%)の順となっています。
- ・「利用したことがある」と回答した1人の感想は、「良い施設である」となっています。

| 利用状況 | 感想 | 回答数 | 割合 |
|-----------|---------|-----|-------|
| 利用したことがある | 良い施設である | 1人 | 10.0% |
| | 課題がある | — | — |
| | 無回答 | — | — |
| 知っている | 良い施設である | 2人 | 20.0% |
| | 課題がある | — | — |
| | 無回答 | — | — |
| 知らない | | 7人 | 70.0% |



理由

●「利用したことがある」回答者の「良い施設である」の理由

車を気にせず子供を遊ばせられる。

●「知っている」回答者の「良い施設である」の理由

地域住民に開放されたので。

理由回答無し (1人)

4 烏山地域の街づくりについて

問 2 4

区が烏山地域のまちの姿（問 7 をご参照ください）を実現するため、特に力を入れるべきと思う場所があれば、理由を添えてご記入ください。

<回答>

- ・千歳烏山駅周辺地区や上北沢駅周辺地区、公園・緑地に関する意見が挙がっています。

● 上北沢二丁目地区、上北沢駅周辺地区

| 場所 | 理由 |
|--------------|--|
| 明大前から上北沢の駅付近 | 道が細く、踏切が開かず、お店も少なく、まとまった緑も少ない。とにかく活気がない。 |
| 上北沢 | 狭い道路や一方通行が多く、普段の外出でも歩いていて危険な時が多い。 |

● 千歳烏山駅周辺地区

| 場所 | 理由 |
|------------------------|---|
| 千歳烏山 | 乗降客数の割に文化形成がない。 安いチェーン店ばかり、書店も僅か一軒、スポーツジムもなく、貧相な街になってしまっている。 |
| 千歳烏山駅の今後出来るであろう駅前ターミナル | 都区内の新宿より西側で調布より手前に羽田などへの高速バス乗り場などが出来たら本当に便利だと期待しています。 |

● 世田谷西部地域

| 場所 | 理由 |
|------------|--|
| 北烏山もぐら公園 | 自由に遊べる空間がさらに必要。 |
| 北烏山 7 丁目緑地 | 公園ではなく緑地としての保全だが、これもまた寺町至近の立地を考えれば、至極妥当だと思う。「賑わい」は、商業地でこそ目標たり得ようが、昨今の「フェス」のようなものは、必ずしも公園本来の目的であるとは思わない。むしろ、静謐さ・静かな環境での自然との対話… そうした時間を過ごせる場の方が、遥かに価値があると思う。おそらくは、多様なニーズの下に、さまざまな希望が寄せられることだろう。日比谷公園のように、可能な限りニーズを満たそうとするのも一つの選択肢ではあろうが、極力、余計な手を入れ過ぎずに、先住者である野鳥や小動物のテリトリーをきちんと確保すること、多年、手入れが不十分であった樹木の適切な剪定ないし伐採と補植、そうした環境に配慮した整備を望む。同時に進められる道路整備は、必須のものなのか、よくわからないが、行くとすれば、グリーンストリート、すなわちグリーンインフラ技術をふんだんに投入した準自然的道路の範例となるものを目指すべきだ。 |

● みどり豊かで住みやすいまち

| 場所 | 理由 |
|----|---|
| 公園 | 様々な多くの人々が利用する場所だから。 特に未来の宝である子供が育つ場所だから。 |

問 2 5

烏山地域の街づくりについて、ご意見などありましたらご記入ください。

<回答>

- ・千歳烏山駅周辺地区の街づくりや、京王線の高架化の早期実現などに関する意見が挙がっています。

● 千歳烏山駅周辺地区

区民センター横の喫煙所からタバコの煙が漏れているが、構造を変えられないか。本当は時代的に無くしてほしい。

また、喫煙者が多すぎて外まで溢れかえっている時もある。その場合はせめて喫煙所の中に入るよう厳しく伝えてほしい。

● 安全で災害に強いまち

電柱の埋設。

● 活動・交流の拠点をもつまち

地権者の十分な理解が必要だが、駅の前に区民センター広場が直結し、空間の広がりを出せば、周辺の商店街での空間的閉塞感が明らかになり、開発が進むと考える。

街全体での設計が必要。

魅力的な商業施設が少なく、街に活気がない。住んでいる人以外、歩いていない。高架化に合わせ、駅前が整備され、人が賑わう街になってほしい。

芸術や芸能などの地域活動は、千葉県柏の街が素晴らしいと感じています。烏山もそのように発展して行けばいいのにと望んでいます。

● 誰もが快適に移動できるまち

京王線の踏切がなかなか開かず、また狭い道路で自動車の長い行列ができ、歩行面で危険なことが多いため、高架化を急いでほしい。

5 世田谷区全体の街づくりについて**問 2 6**

世田谷区全体の街づくりについて、ご意見などありましたらご記入ください。

<回答>

- ・公園の喫煙ルールや快適な移動などに関する意見が挙がっています。

● みどり豊かで住みやすいまち

公園内にタバコが落ちていたり、喫煙者が居座っていることがあり、子供を安心して遊ばせられない。特に砂場にタバコが落ちているのは子供に大きな害となる。
また、妊娠中や小さい子供を連れての外出中に路上喫煙者と遭遇すると健康被害が心配。
公園を含む路上喫煙は厳しく取り締まってほしい。

● 誰もが快適に移動できるまち

自転車用レーンを走っていても、道路脇の緑から枝が伸びていたりして、走りにくいことが多い。道路脇には日陰になるような大きな木を植えて欲しい。
南北の移動が困難。

● その他

若者、子育て世代（共働き）が望むまちづくりをしてほしい。
高齢の地権者たちは代々受け継いできた土地への思いがあるはず。
地権者者たちには、ただお金と交換するだけで無く、街の発展に寄与するその価値を丁寧に説明し、協力を仰ぐことが必要かと感じる。

6 区民主体の身近な街づくりについて

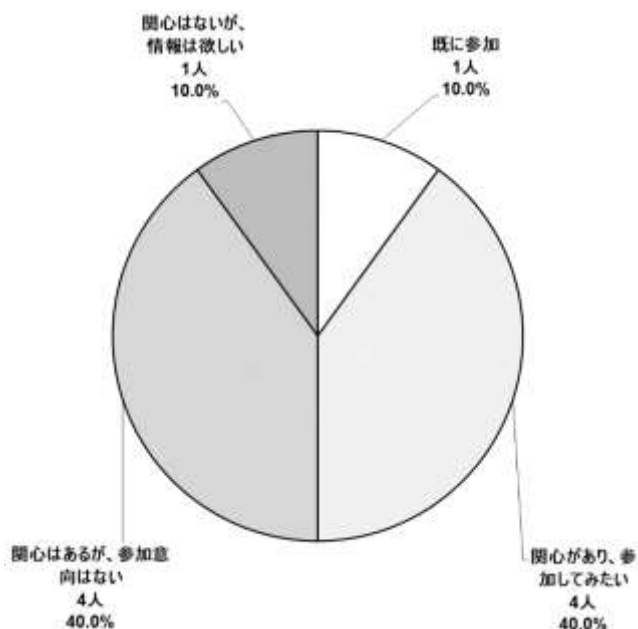
問 27

街づくりを推進するためには、区民・事業者と区が協働して進めることが大切ですが、こうした街づくりへの関心や、街づくり活動への参加意向について、あてはまるものに○をつけてください。差し支えない範囲で1については〔参加した活動名〕、3については〔理由〕をご記入ください。

<回答>

- ・「街づくりへの関心はあり、活動に参加してみたい」と「街づくりへの関心はあるが、活動に参加する意向はない」が最も多くそれぞれ4人（40.0%）であり、「既に参加している」と「街づくりへの関心はないが、情報は欲しい」がそれぞれ1人（10.0%）となっています。
- ・「既に参加している」と回答した方の活動内容は、みどりの維持管理や防災などに関する街づくり活動への参画でした。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|-----------------------------|-----|-------|
| 1 既に参加している | 1人 | 10.0% |
| 2 街づくりへの関心はあり、活動に参加してみたい | 4人 | 40.0% |
| 3 街づくりへの関心はあるが、活動に参加する意向はない | 4人 | 40.0% |
| 4 街づくりへの関心はないが、情報は欲しい | 1人 | 10.0% |
| 5 街づくりへの関心はない | — | — |
| 6 その他 | — | — |



街づくり活動の内容 (選択肢1を選んだ場合に回答)

区のみどり33推進の活動に参画、区の計画策定への参加 など